社会医療法人社団 埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

ともに vol. 15

～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～

新任医師紹介
病理診断科のご紹介
地域医療ネットワーク
健康管理センターのご案内
インペラ導入
学会報告





令和3年9月6日

健康管理センター リニューアルオープン！



新任医師紹介

Introduction Of New Doctor



循環器内科　10月1日 着任

橋本　治 医師

循環器内科の橋本です。前任地の北海道では内科一般・東洋医学も行っていました。
皆様のお役に立てるよう尽力致します。



形成外科　10月1日 着任

福田　有里 医師

10月から1年間お世話になります。千葉大学 形成・美容外科から参りました福田と申します。埼玉県の富士見市出身で、初期研修は上尾中央総合病院で行っていました。まだまだ未熟ですが、皆様と一緒に日々成長していくと共に、研修医の皆様には私がお伝えできる知識は出来る限り共有していきたいと思っております。

特技は、ストリートダンスで、好きなお酒は日本酒です。仲良くして下さい。よろしくお願い致します。



脳神経外科　10月1日 着任

小島　達也 医師

北九州から参りました脳神経外科の小島と申します。

手術・カテーテル治療等により可能な限り患者様のADLを改善できるように頑張りたいと思います。



脳神経外科　10月11日 着任

水橋　里弥 医師

10月から脳神経外科で勤務させていただきます。宜しくお願いします。動脈瘤、脳血管奇形、虚血性脳疾患、頸動脈狭窄、頭部外傷など専門にしております。

患者さんおひとりおひとりに最適な医療の提供と寄り添った診療を心がけます。病気のことで心配事が有りましたら何でもお尋ねください。



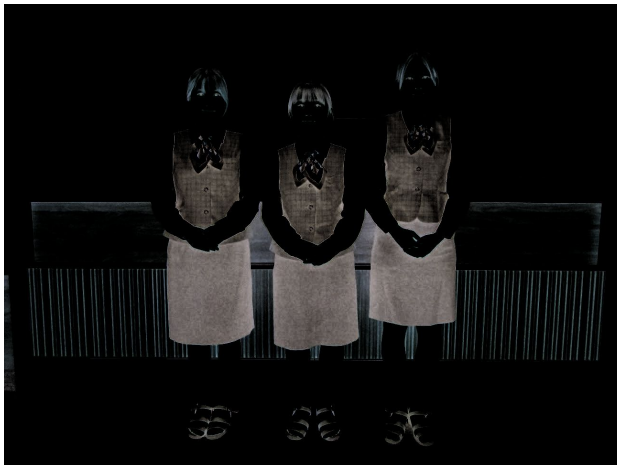
代謝糖尿病内科　10月1日 着任

眞弓　大輝 医師

糖尿病内科として10月より共に働かせて頂くことになりました。
お気軽にご相談いただければと存じます。宜しくお願い致します。

健康管理センターのご案内

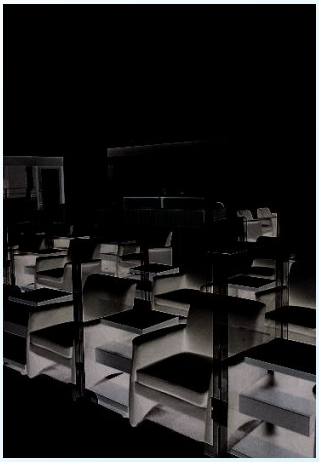
令和3年9月6日
リニューアルオープン致しました!!



- 最新鋭の医療検査機器を駆使した健康管理センターで専用待合室も完備致しました。
- 清潔感あふれる明るい雰囲気の中で安心してご受診いただけます。
- 万が一検査で異常が発見された場合、または異常の疑いがある場合は、当院でさらに詳しい検査・治療を受けて頂くことが可能です。
- 各種画像診断の読影は当院の専門医と放射線科専門医によるダブルチェック体制で行い、診断の質の向上を目指します。

予約から健診までの流れ（当院は完全予約制です。）

1 お申し込み	受診希望日の2～3週間までにお申し込み下さい。 （健康保険組合・各種団体により検査内容・料金が異なりますので、ご予約の際は必ずお申し出下さい。）
2 書類送付	ご受診日の10日前頃に問診票などの関係書類をお送りします。（中身をしっかりご確認下さい。）
3 健診当日	事前に送付した書類に記入し、検体・保険証をご持参の上、健康管理センターまでお越しください。



主な健診コース

- 人間ドック（日帰り）
- 生活習慣病予防健診
- 脳ドックコース
- 健康診断



各種追加オプション検査

- 脳検査（MRI・MRA検査）
- 大腸内視鏡
- 胃内視鏡検査（カメラ）
- 胃透視（バリウム）
- 骨塩定量検査
- 乳房マンモグラフィー
- 腹部超音波
- 胸部CT検査・喀痰検査
- 子宮頸がん検査
- 各種腫瘍マーカー
- 乳房超音波



病理診断科のご紹介

新久喜総合病院の病理診断科に、今年2021年の４月より病理の先生が２名着任されました。2名体制となり病理診断におけるレベルの高い討論を日常的に行い、迅速かつより正確に病理診断を報告することに努めています！

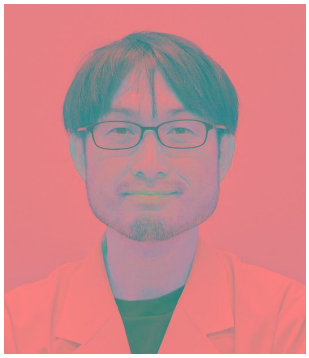
経験豊富で温厚な先生方と病理スタッフで賑やかに日々業務を行っています。ここでは着任された病理の先生方と病理診断科が何をしているのかをご紹介します。



病理診断科部長

市村（いちむら）　隆也（たかや）　医師

分かりやすい診断を心がけています。不明な点はお気軽にお問い合わせ下さい。



病理診断科　医師

割栢（わりがや）　健史（けんじ）　医師

顕微鏡とテニスと自転車が大好きです！遊びに来て下さいね♥

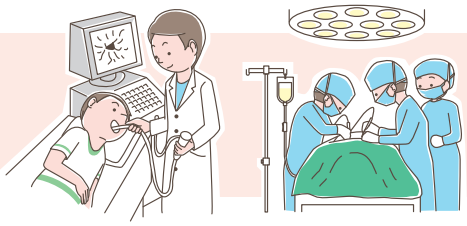
病理診断科とは？

患者さんの体から採取された組織が良性か悪性か判断するところです。

病理標本（プレパラート）を顕微鏡で観察し、病気の種類が何か、病気がどのくらい進行しているのか、手術で病変部を取りきれたのか、がんの場合は転移の有無などを調べます。臨床検査技師は主に病理組織標本の作製を行い、病理医が診断を行います。

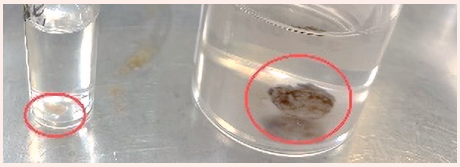
ここから、病理医が診断する標本が出来上がるまでの基本的な工程をご紹介します。

検定検出



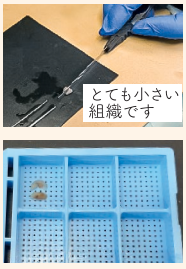
検体提出：胃カメラや大腸カメラで摘出された一部の組織、手術で摘出された臓器などが病理検査室に提出されます。

固定



固定：採取された組織は、腐らないようにするためにホルマリンという液体に浸けて、固定という操作を行います。

切り出し





切り出し：組織を一つずつ確認を行いながら、必要に応じて切るなどの作業を行い、カセットと言われる小さなケースに組織を入れます。小さな組織は臨床検査技師が切出しを行います。手術材料は病理の先生が診断に必要な重要な部位を切り出し、臨床検査技師は病理標本作製を行います。

包埋





❶ パラフィンの中に組織を入れる(65度)



❷ 冷やして固めるとパラフィンブロック

包埋：機械に一晩かけて、脱水などの処理を行い、パラフィン(ろうそくのロウ)に組織を浸透させます。次にパラフィンを冷やして固め、パラフィンブロックを作製します。

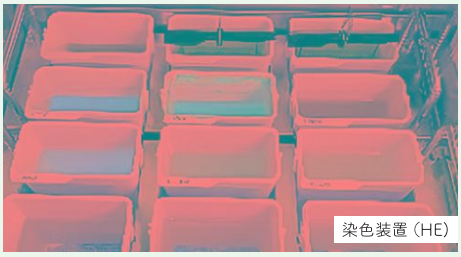
薄切





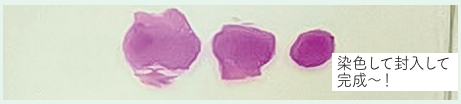
薄切：ミクロトームという機器を使用し、2～4μmの薄さに切り、スライドガラスにのせます。(1μm=1/1000mm)少し温度を上げて乾燥させ、しっかりと貼り付けます。

染色



染色：染色(HE染色)を行い、細胞に色を付けて、顕微鏡で観察できるようにします。

封入

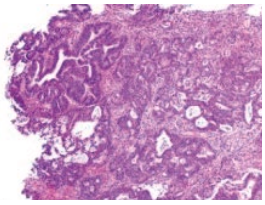


封入：カバーガラスという薄いガラスを被せて、病理組織標本の完成です。

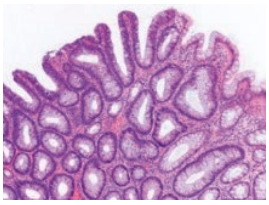
鏡検



顕微鏡写真（HE染色）



大腸癌



大腸腺腫（良性腫瘍）

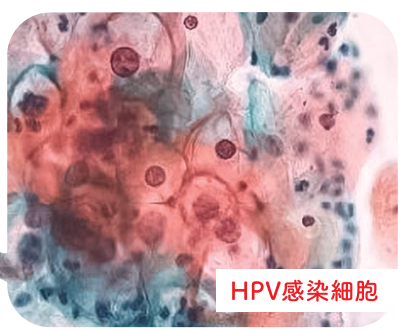
報告

小さな検体で、検体提出から診断報告までに2～3日かかります。
さらに詳しく調べるために追加で染色を行ったり、手術で摘出した大きな臓器では、1～2週間ほどかかる事もあります。

他にも、免疫組織学染色、術中迅速検査、病理解剖、細胞診検査を病理診断科で行っています。

こんな細胞をみています！







細胞診検査については、細胞検査士という認定資格を取得した技師が検査を行っています。そこで異常な細胞が見つかった場合には、細胞診専門医に確認していただき最終診断となります。

インペラを導入しました

インペラ（IMPELLA）とは、左心室負荷を直接軽減する補助人工心臓の一つです。



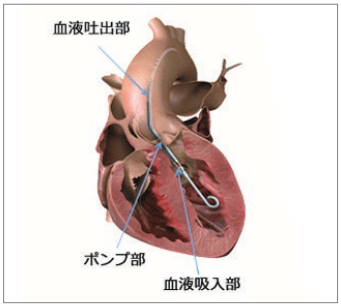


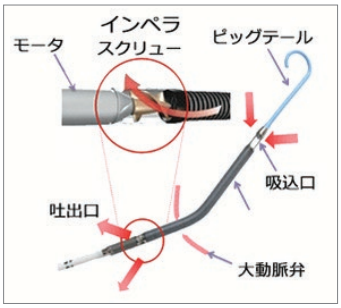


非常に小型のポンプをカテーテルで左心室の中に入れることで、循環補助（動かなくなった心臓のかわりに全身に血液を送る）が可能になる新しい循環補助装置です。

広範な心筋梗塞や劇症型心筋炎、不整脈や弁膜症など様々な重症な心疾患に伴って心臓の機能が低下し、心原性ショック（自分の心臓で、全身に血液を十分に送ることができない状態）に陥った患者様に対して、心臓のポンプ機能をサポートする役割を果たします。利点として、開胸せずに経皮的に短時間で挿入できる補助循環用ポンプカテーテルなので、必要時には迅速かつ肉体・精神的なダメージをより少なく挿入することが可能です。

循環補助に加えて、心負荷軽減・心機能回復を期待することができ、カテーテルであることから治療時間が短いのも特徴です。







循環器内科

前淵　大輔 医師

ようやく当院でもインペラを使用できるようになりました。いままでリスクの高いカテーテル治療や重症心不全での全身状態管理には難渋していましたが、インペラを使用することでカテーテル治療のリスクは下がったり、全身状態の管理もしやすくなったりと、当科で行える治療の幅も広がりました。さらに、それによって、より重症な患者様やよりリスクの高い患者様への対応も可能となりました。インペラはまだ全国的にも使える施設が限られており、当院でもより重症の患者様に対応できるような体制を整えてきております。

今後は、他施設の重症患者様の受け入れも積極的に行い、地域の拠点病院としてより充実していければと考えております。

新久喜総合病院周辺の地域医療を支える
地域密着型医療施設のご紹介コーナー

地域医療ネットワーク

頼れる!

当院は、80余年前から鷲宮町で内科・皮膚科領域の健康管理をさせていただいております。2013年からは、さいたま新都心駅近くにけいこ皮膚科クリニックを併設し、心疾患・高血圧・高脂血症・糖尿病・睡眠時無呼吸などの内科疾患。巻き爪や美容治療を含めた皮膚科診療。漢方薬やプラセンタ療法を用いた更年期治療をさせていただいております。

平素より、精密検査や入院加療を必要とする患者様に対応していただいている新久喜総合病院の職員の皆様には感謝で一杯です。また、今後は、ペースメーカー患者様の管理を通して少しでも地域連携のお手伝いができると幸いです。





医院長
南條 修二 先生

◆内 科◆	月	火	水	木	金	土	日
9時～18時	●	―	―	●	●	―	―
9時～17時	―	●	●	―	―	●	―

※12:00から14:00はお昼休みとなります。

一般内科、糖尿病、肥満症、睡眠時無呼吸症、健康診断、健康診断の結果相談、一般皮膚科、アレルギー科など

◆皮膚科◆	月	火	水	木	金	土	日
9時～12時	―	―	―	●	●	―	―
14時半～16時半	―	―	―	―	―	▲	―

※12:00から14:00はお昼休みとなります。 ▲土曜は第1·3のみ

一般皮膚科、美容皮膚科、脱毛、巻き爪など



理事長
南條 圭子 先生



庭には鎌倉の明月院由来の紫陽花、院内は昭和の面影と、私の愛する、季節ごとに掛け替える藤城清司の版画で癒される病院です。

医療法人紫陽会
高橋医院 〒340-0211 埼玉県久喜市上内1746

東武伊勢崎線 鷲宮駅から徒歩5分

内科・皮膚科・アレルギー科　休診日　日曜、祝日

TEL 0480-58-8787

学会報告







令和3年6月20日に行われた第30回埼玉県作業療法学会にて、「頸椎損傷患者にダイナミックスプリントを作成し趣味活動の再獲得へ繋げることができた事例」というテーマで症例報告を行いました。ダイナミックスプリントとは自主トレーニング用の指に付ける装具です。このスプリントを作製したことで、リハビリの訓練時間以外にも効率よく自主トレーニングを行うことができるようになりました。その結果手の動きが改善し、患者様が大切にしていた趣味の畑仕事を再開することができました。

初めての学会で不安でしたが、多くの先輩方から指導・ご鞭撻を頂き、学会長賞を頂くことができました。今後も患者様とのリハビリを大切にしながら症例発表や研究も行い、作業療法士としてステップアップしていきたいと思います。

今回協力いただいた患者様にはこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

リハビリテーション科　月岡　美波

スタッフ募集



新久喜総合病院

新久喜総合病院は、24時間365日「断らない病院」として、地域に必要とされる2次救急に対応し、高度な入院機能を特徴として、急病人や重傷者を治療する医療機関です。

また、災害拠点病院としての機能を有しており、災害派遣チーム（DMAT）及び埼玉県特別機動援助隊（埼玉SMART）として活動しています。

さらに地域医療支援病院として、地域医療のより質の高い医療を提供できるよう病診連携・病病連携・介護連携にも力を入れております。

病院概要

開　　設：2016年4月1日
診 療 科 目：内科/消化器内科/循環器内科/呼吸器内科/代謝・糖尿病内科/腎臓内科/脳神経内科/外科/呼吸器外科/心臓血管外科/消化器外科/乳腺外科/小児外科
肛門外科/整形外科/脳神経外科/形成外科/リウマチ科/皮膚科/泌尿器科/婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/リハビリテーション科/放射線科/麻酔科/救急科/病理診断科
病　　床　数：391床　急性期病棟：259床　ICU：18床　HCU：16床　回復期リハビリテーション病棟：98床
看 護 基 準：急性期病棟：7対1　ICU：2対1　HCU：4対1　回復期リハビリテーション病棟：13対1
救急搬入患者数：月約500件
手 術 件 数：月約300件

募集職種　**看護師・准看護師・看護助手・薬剤師・検査技師・放射線技師・臨床工学技士・社会福祉士・理学療法士**
作業療法士・言語聴覚士　※詳細はホームページをご確認下さい。http://shinkuki-hp.jp

■所在地　埼玉県久喜市上早見418-1　　■お問い合わせ先　TEL 0480-26-0033

先日、地域の方よりたくさんのお飲み物やゼリーのご支援を頂戴致しました。暖かいお気持ちに職員一同、心より感謝致しております。

地域の皆様のご期待に違わぬよう、高度医療・総合医療・地域医療の推進に邁進致して参りますので、今後とも変わらぬご理解・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

新久喜総合病院　病院長　志田　晴彦

編集後記

季節は鮮やかな紅葉から晩秋へと移り変わろうとしています。

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋・・・皆様はどの秋を堪能されていますか。

朝晩寒くなってまいりましたので、体調を崩されませぬようお気をつけてお過ごし下さい。

健康管理センター　森　健



お車の場合
県道3号、久喜市上早見の交差点を菖蒲方面に曲がり約250m（久喜ICより約3分）

電車の場合
JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅下車、徒歩約30分

バスの場合
［朝日バス］久喜駅西口から約10分
- 久西01　久喜駅西口～新久喜総合病院前～菖蒲仲橋
- 久西02　久喜駅西口～新久喜総合病院（玄関）～菖蒲仲橋

［久喜市市内循環バス］
- 除堀・所久喜循環
- 六万部・北中曽根循環

新久喜総合病院 広報誌
ともに vol. 15
～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～

社会医療法人社団 埼玉巨樹の会
新久喜総合病院
〒346-8530 埼玉県久喜市上早見418-1
https://shinkuki-hp.jp
TEL 0480-26-0033　FAX 0480-44-8026

発行日：令和3年10月25日　担当者：地域医療支援センター
稲葉 遥海